

2017年7月31日

報道関係者各位

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20

ディーアイシービル

DIC 鹿島工場にメガソーラー（大規模太陽光発電設備）を導入

さらなる再生エネルギーの活用により、地球温暖化防止への取り組みを強化

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：中西義之）は、地球温暖化防止への取り組みとして、温室効果ガスである二酸化炭素（CO₂）排出量削減を目的に、有機顔料などを生産する鹿島工場（茨城県神栖市）の遊休地にメガソーラー（大規模太陽光発電設備）を新たに設置することを決定しました。同設備は工場内で使用する電力用で、発電出力は1,600kW（年間発電量：1,700MWh/年）、同設備導入による鹿島工場のCO₂排出量は、2016年比約3%削減につながります。2017年8月に着工し、2018年1月の竣工を予定しています。



メガソーラーを導入する鹿島工場

当社グループでは、昨年度から、『温室効果ガスの排出量（絶対量）を毎年1%削減し、2020年までに2013年を基準に7%削減』とする中期目標を独自に設定しています。このたびの効果をグループ全体で評価すると、2013年比で0.2%の削減に寄与することとなります。

鹿島工場は、コージェネレーションシステム（熱と電力の併給設備）と再生可能エネルギーを導入しており、購入電力とのベストミックスに積極的に取り組んでいます。中でも、再生可能エネルギーの活用については、バイオマスボイラや風力発電、太陽光発電を導入し、当社グループの地球温暖化防止への取り組みに大きく貢献しています。このような取り組みを行うことで鹿島工場ではCO₂を年間約25,900t削減していますが、このたびのメガソーラー導入により、さらに年間1,200tのCO₂削減を実現できます。

当社グループは、サステナビリティ活動の一環として工場・研究所・オフィスなどから排出するCO₂の削減に継続して取り組んでいます。今後も、グローバルで温室効果ガスの削減に努め、サステナブルな社会の実現に貢献していく所存です。

以上